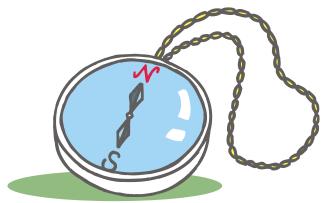


# 羅針盤

第 2 号 令和5年4月17日(月)



## ◆ 「挑戦する心」

今年度の入学式で、中学校生活において持ち続けてほしいことについて、新入生の皆さんにお話した内容を、全校生徒の皆さんにも、是非伝えておきたいと思います。まず一つ目に、「挑戦する心」を持ち続けるということです。今年度のスタートにおいて、さあこの一年こそはと、新たな目標を立てて頑張りだそうとしている人がたくさんいると思います。その目標をクリアしていくためには、必ず「挑戦する心」といったものが必要となるはずです。目標を達成するためには、困難な出来事を乗り越えていかなければならぬでしょうし、苦労するようなことがたくさんあるはずです。目標設定が高ければ高いほどなおさらのことです。だからといって、簡単に諦めてしまったり、失敗することを恐れて挑戦することをやめてしまっては、人としての成長は難しいことでしょう。マイクロソフト社の創業者として世界的に有名なビル・ゲイツは、「成功したければ、成功への願いが、失敗への恐れより強くなければいけない」と語っています。挑戦しないことでの後悔をするよりも、失敗することの大切さを理解したうえで、「挑戦する心」を持つことが何よりも大事なことだと思います。本当にやりたいことを見つけることができているのに、諦めているようであれば、改めて挑戦できる心構えをしっかりと持ち、一步でも二歩でも僅かながらの歩みであったとしても踏み出していくことです。時代の変化とともに、自分自身も変わり行く人でなければ、自分でも気付かないうちに現状を維持するどころか、後退してしまっているかもしれません。自分を成長させていくためには、人生においては絶えず挑戦していくことが必要です。成功することの対義語は、失敗することではなく、何もしないことです。失敗の延長線上に、必ず成功が訪れるものです。勇気を持って一步踏み出すことで、周りが変わり、自分が変わり、多くのことを学ぶ機会を持つことができます。人は成功することで成長するのではなく、目標の達成に向けて挑戦していく過程で成長するものです。「挑戦する心」をいつまでも持ち続ける人であってほしいと心より願っています。



## ◆ 読解力につけるために

読解力とは、「文章を読んでその内容を正しく理解し、解釈する力」のことですが、文章だけでなく、他者とのコミュニケーションの中で、相手の置かれている状況や、感情、伝えたいことを把握し、理解する力でもあり、日常の様々な場面において必要とされる「すべての学びの基盤となる力」のこと、つまり、すべての教科で培っていくべき力であると言えます。具体的には、情報を探し出す力であり、文章の意味を理解する力であり、そして、情報の質や信ぴょう性といったものを評価して、その内容を熟考する力であるとされています。これらの力を蓄えていくためには、やはり一定の読書量は必要とされるかもしれません、ただ単に本を読む機会を増やせばよいというものではなく、文章内容を熟考するための思考を繰り返す習慣づけが必要なことのようです。そして、理解した内容を要約してアウトプットする力が、読解力を養うためには必要不可欠なようです。

